

令和3年度 学校目標（全日制）

	視 点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取 組 の 内 容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①探究活動、体験活動、研究活動を充実させ、生徒一人ひとりの個性をいかした教育課程を編成するとともに、主体的な科目選択ができる系と分野のシステムを充実させる。 ②創造力、推進力、発信力の育成と学習習慣を確立させ、生徒一人ひとりが積極的に自己を伸長させるための学習を支援する。	①生徒一人ひとりの個性をいかし、創造的な活動ができる人材を育成するために、新学習指導要領に基づいた教育課程を編成するとともに、主体的な科目選択ができるよう工夫をする。 ②学習習慣を定着させ、生徒一人ひとりが積極的に主体的な学びに取り組めるよう支援するとともに、プレゼンテーション能力を育む。	①各系、分野の施設設備を活用し、専門教育を充実させ、自ら課題を解決する力を育む。生徒の現状や関心に即し、単位制、2学期制の特色を活かした教育課程を編成し、学習計画ガイダンスで理解しやすいよう説明する。 ②生徒が主体的に学べるよう、計画的に研究授業や校内研修会を実施し、授業改善を図る。	①生徒一人ひとりが課題に対して自ら解決策を講じ、積極的に取り組んでいたか。生徒一人ひとりが主体的な科目選択に取り組んでいたか。 新学習指導要領の施行に向けた教育課程の編成ができたか。 ②研究授業や校内研修会を実施したか。また、「生徒による授業評価の3、4が90%以上になったか。
2	生徒指導・ 支援	①生徒一人ひとりの豊かな人間性を育み、生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させる。また、安心して安全に希望をもって学べる学校をつくる。 ②生徒の主体性の育成に向け、学校行事や生徒会活動等を充実させる。	①生徒一人ひとりの規範意識を育て、主体的に責任ある行動ができるように継続的な指導を計画し進める。 ①生徒一人ひとりの多様性を踏まえた校内支援体制の推進を図り、安心して安全な、明るく活力のある学校をつくる。 ②学校行事や委員会活動において、生徒が主体的に企画・運営を行えるようにする。	①名札の着用や交通・通学ルールの遵守など、基本的な規範意識を養う環境を作る活動や、関係グループと連携し、それらを浸透させる活動を行う。 ①年次会を中心とした情報交換の徹底や関係グループとの連携により、生徒の様々な相談や課題に対応できる組織づくりを行う。 ②行事運営に生徒の発想を取り入れ、主体的に活動することにより、生徒会活動をさらに活性化させ、充実を図る。	①安心して安全な学校生活に向けた取組及び生徒の規範意識向上に向けた取組を充実させることができたか。 ①年次会やケース会議、いじめ対策会議、関係グループとの連携により、生徒の状況を適切に把握し、相談や課題へ組織的に対処できたか。 ②各行事の事後アンケートで生徒の満足度が80%以上になったか。
3	進路指導・ 支援	社会で生きるために必要な知識や能力を身につけるとともに、個々の進路希望を実現させるための支援とキャリア教育を充実させる。	生徒一人ひとりの主体的な進路希望を実現するために、キャリア教育及び進路支援体制を強化する。	生徒の進路意識を高め、進路実現できるように面談や各種ガイダンスを適切に実施し、支援を行う。「総合的な探究の時間」を活用し、自己のあり方、社会とのかかわりについて考える機会を設ける。計画的なアセスメント及びインターンシップなどを実施する。	生徒の進路実現のための支援を行い、卒業時の進路未決定者数を減少させることができたか。 自己の進路について考える機会をもたせることができたか。進路実現に資する模試の実施割合が、計画に対して80%以上実施することができたか。 インターンシップに参加した生徒に行ったアンケート結果の「満足できる」が、80%以上になったか。
4	地域等との 協働	①積極的なボランティア活動を展開し、地域の小中学校や自治会など近隣地域との連携を深め、地域に根ざした教育活動を推進する。 ②学校の情報を広く地域に発信し、地域に開かれ、地域と共にある学校づくりをさらに進める。	①コミュニティ・スクールを利活用するとともに、地域および他校間との連携を図り、生徒一人ひとりの主体性を育成する。 ②学校の活動や生徒の様子をホームページ等を通じ地域へ広く発信する。	①地域の小学校（2校）と連携し行っている高校授業体験について、小学校の意見を参考に方法や内容を精査しより良いものとなるよう検討する。 ②ホームページ運用を学校全体で取り組み、内容の充実を図る。	①高校授業体験に対し、小学校の理解を得られるような内容を計画できたか。 ②ホームページ運用を学校全体で行い、例年の更新回数40回を上回る事ができたか。
5	学校管理 学校運営	①事故不祥事の未然防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力を向上させる。 ②生徒の防災意識を高め、防災教育を推進する。 ③教員や生徒、保護者など学校関係者が協力した、式典を事故なく執り行うとともに、生徒の学習成果発表などを積極的に発信する。 ④教員のライフワークバランスを推進するため教員の働き方改革を推進する。	①事故不祥事防止のさらなる徹底を図る。また、私費会計の適切な運用を行う。 ②防災教育の充実を図り、生徒一人ひとりの防災意識と防災対応能力を高める。 ③式典等の学校行事を滞りなく運営する。 ④長時間勤務を是正する。	①事故不祥事防止に係る研修会を充実させるとともに、教職員が相談しやすい環境を整える。また、会計基準に基づき、適正に予算を執行する。 ②生徒・保護者に対して、災害時の行動について啓発できるような安全指導対策を実施する。 ③PDCAサイクルにより、式典が一層充実するように努める。 ④「ノー残業デー」を実施するとともに、勤務時間内の会議を徹底する。	①事故不祥事がゼロであったか。 ②防災教育として、大規模災害時を想定した生徒・保護者・教員・地域が連携した訓練を2回実施できたか。 ③関係部署と緊密な連携をとることで、式典を円滑に進行することができたか。 ④月2回以上「ノー残業デー」を実施できたか。 勤務時間を超えずに会議を行うことができたか。